

# 災害時の子どもの居場所はどうあるべきか

## 子ども期に支援を利用してきた若者たちの声から考える

災害時の子どもの居場所はどうあるべきか

中高生時代に東日本大震災で被災をした若者・子育て世代の語りと

2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震や

昨年末に閣議決定されたこどもの居場所づくりに関する指針を踏まえつつ

東北から発信する

開会挨拶 13時00分 足立 智昭 一般社団法人東日本大震災子ども・若者支援センター 代表理事  
宮城県子ども・子育て会議前会長 宮城学院女子大学名誉教授

第1部 13時5分～13時45分

子ども期の支援で育んできたこと 新たな家族を作り出すこと、子育てをめぐる

子ども期に被災をした若者・保護者への各種調査結果から

清水 冬樹 一般社団法人東日本大震災子ども・若者支援センター 理事

東洋大学福祉社会開発研究センター 客員研究員

東北福祉大学総合福祉学部 准教授

子ども期の支援で育んできたこと 若者たちが語る被災経験と家族形成

岩手県山田町ゾンタハウスで育った若者3名

第2部 13時50分～15時15分

パネルディスカッション 災害時の子どもの居場所はどう構築すべきか

災害時の子どもの居場所の実践～令和元年東日本台風、能登半島地震対応などからの教訓

小野 道子 東洋大学福祉社会開発研究センター 研究員

東洋大学福祉社会デザイン学部 准教授

特定非営利活動法人災害時こどものこころと居場所サポート 代表理事

東日本大震災における子どもの心のケアと支援者支援からの示唆

足立 智昭

国の立場から～こどもの居場所づくり指針について～

山口 正行 こども家庭庁成育局成育環境課長

東日本大震災における行政による子どもの居場所への支援の現状と課題

志賀 慎治 宮城県保健福祉部長

コーディネーター 森田 明美

東洋大学福祉社会開発研究センター 客員研究員

東日本大震災子ども支援ネットワーク 事務局長

一般社団法人東日本大震災子ども・若者支援センター 理事

東洋大学名誉教授

15時30分～ 情報交換会

若者たちやパネリストの方々、参加者と情報交換ができます

参加費は無料です

どなたでもご参加いただけます

対面：お申し込み不要  
オンライン配信：右記QRコードを  
クリックするか、読み込んで  
お申し込みください。後日リンクを  
登録いただいたメールに送信します。  
※シンポジウムは収録し、後日配信いたします。



2024年3月2日 土曜日

開場: 12時40分 開始: 13時

会場 仙台レインボーハウス

宮城県仙台市青葉区五橋2丁目1-15 (地下鉄南北線五橋駅徒歩2分)

上履きをご持参ください

15時半からの情報交換会も含めて

参加費 無料

お問合せ先 mail shimizu-f@ejcenter.jp  
担当 清水 冬樹

主催：一般社団法人東日本大震災子ども・若者支援センター

共催：東洋大学福祉社会開発研究センター 宮城県議会こども政策研究会

後援：東日本大震災子ども支援ネットワーク 協力：特定非営利活動法人メディアージ 日本OECD共同研究